

編集後記

「誠にまことに汝らに告ぐ、一粒^{むぎ}の麦、地に落ちて死なずば、唯一つにて在らん、もし死なば、多くの果を結ぶべし」というのは聖書の有名な一節です（ヨハネ福音書 第12章24節より）。この後、「己が生命を愛する者は、これを失ひ、この世にてその生命を憎む者は、之を保ちて永遠の生命に至るべし」と続き、自己犠牲の重要性を説いたものとされていますが、よく考えると本当に麦が死んでしまったのであれば、その後、芽が出ることもないのでは？ と突っ込みを入れたくなってしまう。がんの場合も地（転移先の組織）に落ちた後、（死ぬことなく）多くの果（転移巣）を生じます。英国の外科医であった Stephen Paget 博士（Paget 病で有名な病理学者の Sir James Paget の息子です）は、1889年に乳がん患者735症例の詳細な剖検結果の解析から、がんの他臓器への転移は偶然に生じるのではなく、腫瘍細胞（seed）が転移する臓器（soil）と親和性をもち、それらが適合した時に転移が生じるという、いわゆる“seed and soil theory（種と土壌説）”を提唱しました¹⁾。がん骨転移の場合も、骨組織に転移しやすい種類のがんが知られており、乳がん、肺がん、前立腺がんなどは骨組織への affinity が高いがん種であることが知られています。最近ではがん細胞が産生するサイトカインやマイクロ RNA などがエキソソームによって遠隔臓器に運ばれて転移先の環境を変化させ、“premetastatic niche（前転移ニッチ）”と呼ばれる転移しやすい環境を構築する可能性が指摘されています。骨組織についてもがん細胞の産生因子によって破骨細胞が活性化し、がんの転移環境を整えることが報告されています²⁾。これはいわば「落

ちる前の麦があらかじめ土壌を耕す」ということであり、麦側の生存戦略を示唆するようで興味深いです。

さて今月号の特集は河野博隆先生のご企画による「骨転移診療のすゝめ—現状と課題」です。日本人の死因の第1位は、1981年から40年以上連続して「悪性新生物（がん）」であり、実に1/4以上の方ががんで亡くなっています。近年免疫チェックポイント阻害薬など様々な治療薬が開発され、がん患者の予後は改善しており、長期間にわたり「がんと共存する（平畑、河野先生の項目参照）」患者が増加しています。このようななかで、整形外科医にとっても「がん」は避けることができない課題となっており、がん患者の運動器の健康をいかにして維持するかが整形外科医の重要な役割になっています。日本整形外科学会が提唱する「がんロコモ」の活動もそのような流れのなかで生まれてきたものです。本特集では整形外科医に敬遠されがちながん診療とどのように向き合うべきか、という観点から、第一線でご活躍の先生方にご執筆いただきました。骨転移のみならず、がんに伴って発生する様々な病態を理解し、多くの方にはがん診療の重要性をご理解いただければ幸いです。

【文献】

- 1) Paget S : The distribution of secondary growths in cancer of the breast. Lancet **133** : 571—573, 1889
- 2) Wang M et al : Molecular mechanisms and clinical management of cancer bone metastasis. Bone Res **8** : 30, 2020

（田中 栄）

「整形・災害外科」第67巻 第7号（6月号） 2024年6月1日発行（毎月1回1日発行） 定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%） 年間購読料金 定価 45,980 円（本体 41,800 円＋税 10%） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 (株) 文京メディカル TEL 03(3817)8036
---	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。